

デジタル教科書の有効活用につなげるための一人一台の端末の活用研究

研究テーマ

『主体的に学び高め合う生徒の育成』（本校研究主題）

～デジタル教材で学ぶ～

■研究の概要

学校教育法等の一部を改正する法律等の公布・施行および学校教育法第34条第2項に規定する教材の使用について定める件の一部を改正する件を受け、九度山町教育委員会から、学習者用デジタル教科書導入の検証研究の指定を受けました。本校では、研究主題達成のため、サブテーマを「デジタル教科書で学ぶ」とし、2年間の研究に取り組み成果を発表します。具体的には、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、数学科における学習者用デジタル教科書の効果的な活用のあり方を研究し、教科書の内容へのアクセシビリティを高めるためのツールの一つとしての活用することで、生徒の個別最適な学びを目指します。

研究にあたって、教師用デジタル教科書で教えることも研修の対象としますが、一人一台の端末で学習者用デジタル教科書を使って、個別最適な学びとするにはどうすれば良いのかが主とした研究テーマにしたいと考えます。さらに、この学びは本校が目指す『主体的に学び高め合う生徒の育成』のための一つのアプローチとして研究を進めたいと考えます。

○研究アドバイザー

令和4年度 和歌山大学教育学部教職大学院 教授 南垣内 智宏 氏

令和5年度 和歌山大学教育学部教職大学院 教授 山田 真稔 氏

○研究協力

啓林館 第三教育推進部

■スケジュール

令和4年度 デジタル教科書について	令和5年度 実践研究・実践発表
<ul style="list-style-type: none"> ・研究の概要策定 ・アドバイザー依頼 ・授業の中でデジタル教科書活用促進 （技術的なことについて講師依頼） ・先進地視察 ・公開授業（研究授業）実施 アドバイザーによる指導 ・本年度のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマの確認 ・研究発表の骨子策定 ・研究発表会準備（日程・案内等） ・研究発表会実施 授業公開・実践発表・講演（指導講評） ・研究のまとめ 研究収録作成